



## 研究員グループまとめ

### 研究員グループテーマ

### 一人一人が主体性を発揮できる学校づくり～子どもの対話的な学びを支える～

本年度、グループでは「対話的な学び」に着目しました。対話的な学びを支える伴走者としての教師の関わり方に焦点を当てて研究を進めてきました。各研究の共通点や相違点、つながりについて話し合い、グループテーマについてふり返りました。

#### 【私たちの考える「対話的な学び」】



#### 研究から見たこと

「話したい」「聞きたい」と思える、子どもたちが他者と対話したくなるような場面や状況が必要だね。

教科で大切にしたい考え方や視点を、教師と子ども、子ども同士が共有することで、さらに考えが広がり深まっていくのではないかな。



「対話によってどんな学びが生まれるのか」子どもの姿を教師が具体的にイメージすることが大切だね。

自己の考えの広がりや深まりを子ども自身が実感し、充実感・満足感を得る経験を重ねていくことによって、子どもの内から「〇〇たい!」という思いがわいてくるのでは?

子ども一人一人に対話的な学びが生まれるにはどうしたらいいのだろう。

対話的な学びの支えとして大事にしたことは、教科学習で大切にしたい考え方や注目する視点を明確にして授業づくりを行うことです。そうすることで、他者や教材と主体的に関わることができ、対話によって思考が深まり、充実感や満足感を得られると考えたからです。それぞれの実践からも、対話を通して新しい気づきを得たり、理解を深めたりして、考えることを楽しむ姿が見られました。自分事として課題に向き合い、他者と関わりながら学ぶことで、子ども達は学ぶ喜びを感じることができると考えます。このような学びを繰り返し経験することが、授業以外の様々な場面においても、「もっとやってみたい」「もっと知りたい」というような主体性の発揮につながっていくのではないかと感じています。

研究を通して、多くの学校、先生方にお世話になりました。本当にありがとうございました。個人研究のまとめは、研究員号(個人まとめ)で詳しくお伝えします。

## 批判的思考を働かせる国語の授業づくり ～子どもが根拠を明確にした考えを持つために～ 研究員 柿本 尚之

中学校国語の授業では、生徒が「言葉」を根拠として考えを持つことに難しさを感じる場合があります。生徒が文章を読む際に、どのように考えれば良いかや注目すべき点を把握すれば、「言葉」を根拠とした考えを持つことができるのではないかと考え、批判的読みの要素を取り入れた授業づくりを行いました。

(※言葉・・・表記されている語句そのものだけでなく、文章構成、内容、筆者の主張なども含む。)

### 【研究仮説】

批判的読みを取り入れることで、生徒が言葉にこだわることができ、根拠を明確にした考えを持てるのではないかと考えました。

### 手立て



兵庫教育大学大学院教授吉川芳則先生の批判的読みの理論の一部を参考に教材研究を行いました。

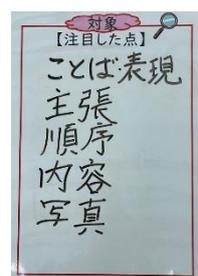
#### 【読み検討の観点】 《考え方》

- ① 必要性
- ② 妥当性・適切性
- ③ 整合性
- ④ 十分性・納得性
- ⑤ 曖昧性

観点：考え方	
(ア) 必要性	これって必要？
(イ) 妥当性	これってふさわしい？
(ウ) 適切性	これって適切？
(エ) 整合性	AとBの内容にズレはない？
(オ) 納得性	十分納得できる？
(カ) 曖昧性	はっきりしないところはない？

#### 【読み検討の対象】 《注目する点》

- | 内容面 |          |
|-----|----------|
| a   | 内容・特質    |
| b   | 種類       |
| c   | 価値       |
| d   | 共通点・相違点  |
| e   | 答え・主張・意見 |
| 形式面 |          |
| f   | 説明の分量    |
| g   | 順序       |
| h   | 論の展開     |
| i   | ことば・表現   |
| j   | 図形・絵・写真等 |
| 世界観 |          |
| k   | 動機       |
| l   | 見方・考え方   |



自分たちで見つけました

### 批判的思考とは？

- 決して粗探しをすること、文句をつけることではない。よいものはよい、よくないものはよくないという態度、姿勢であること。
- 根拠に基づいて考えを導き出せているか、その考えは正しいか、確かであるか問うこと。
- 物事を多面的に捉えること。本質は何かを見抜くこと。

### こんな実践をしました

単元名：「黄金の扇風機」  
新しい国語 中学校2年  
(研究動画・実践②参照)

#### ねらい

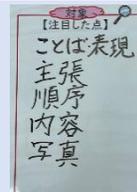
自分たちで見つけた【対象】を意識し、根拠を明確にした考えを持つ

#### 学習活動 段落の並び替え



段落をバラバラにしました。自分たちで見つけた【対象】を意識して並び替えをしましょう。

観点：考え方	
(ア) 必要性	これって必要？
(イ) 妥当性	これってふさわしい？
(ウ) 適切性	これって適切？
(エ) 整合性	AとBの内容にズレはない？
(オ) 納得性	十分納得できる？
(カ) 曖昧性	はっきりしないところはない？



#### 生徒の振り返りより

- ・ことばと内容の関係に注目して並び替えをしました。
- ・なんとなくではなく、理由をもって並び替えることができました。

左の【読み・検討の観点】(以下【観点】)は「これってふさわしいかな?」「本当に必要?」など、文章をどのような考え方で読むのかを表しており、右の【読み・検討の対象】(以下【対象】)は文章のどこに注目して読むのかを表しています。

【観点】は生徒がわかりやすいようにこちらで表に示し、【対象】は数が多いので自分たちで見つける活動を取り入れました。

(研究動画・実践①参照)

【観点】と【対象】の表を生徒に示すことで生徒がどのように文章に着目すればよいかわかるようにして学習活動を行いました。

### 考察・まとめ

- ・生徒は【観点】と【対象】の表を意識しながら文章を読むことで、根拠を明確にした考えを持つことができました。
- ・しかし、わかりやすい語句のみを見つけて満足する生徒も多く見られました。「内容」や「順序」などの【対象】を意識して根拠を見つけ、考えを持つことについてはまだ、不十分だったと考えます。

## 批判的思考を働かせる国語の授業づくり～学びの自覚に着目して～

研究員 谷江久美子

「授業で学んだことは、子どもが使えるものになっているの?」「教材を使って何を教えたらいいの?」そんな問いをもとに研究を進めました。「批判的読み」を取り入れ、自ら批判的思考を働かせて「言葉」を吟味しようとする姿を目指しました。

### 研究仮説

#### 批判的読み

#### 批判的思考を働かせて、教材文を読む

この資料ってふさわしい? 主張に納得できる? なんてこの資料を使ったんだろう? △△なら納得できるけど…

教材文を読むこと以外でも

自分で書く

友だちにアドバイス

#### 【目指す姿】

自ら批判的思考を働かせて「言葉」を吟味しようとする

※言葉…表記されている語句そのものだけではなく、文章構成、内容、筆者の主張なども含む。

文章に立ち返る 他者との対話  
自分の考えが明確になったり、新たな言葉の捉え方に気付いたりする。

〇〇ができるようになった!  
言葉にこだわるっておもしろい!  
国語以外でも使えそう!  
こうやって考えるといいのか!

### 手立て

批判的読みを取り入れるにあたり、兵庫教育大学大学院教授 吉川芳則先生の理論を参考にしました。何を対象にして、どのような観点で読んでいくのかを(図1)のように整理して、子どもたちにも提示しました。この「観点と対象」を軸に教材研究を行いました。

「論理的思考力を育てる! 批判的読み(クリティカル・リーディング)の授業づくり - 説明的文章の指導が変わる理論と方法 -」(吉川芳則 2017 明治図書)



(図1)

観点	対象
(ア) これって必要?	① 事例の内容・種類
(イ) これってふさわしい?	② 共通点・相違点
(ウ) だげさすぎない?	③ 説明の分量
(エ) AとBの内容にズレはない?	④ 事例の順序
(オ) 十分納得できる?	⑤ 筆者の主張
(カ) はっきりしないところはない?	⑥ 論の展開
	⑦ ことば、表現
	⑧ 図表・絵・写真等

読むことの学びが書くことにつながるように  
単元計画を立てました。

時	学習活動
1	○学びの見直しをもつ ○「鳥獣戯画」の絵を見て、吹き出しをつける。
2	○「鳥獣戯画」を自分がどう読んだのかを交流する ○高知さんは、「鳥獣戯画」をどのように読み、何を伝えようとしているのかを予想する。 ○高知さんが何を伝えようとしているのかを考えて、範読を聞く。 ○初発の感想を書く。
3	○高知さんは、「鳥獣戯画」を何点と評価したのかを考える。 ○評価している表現を抜き出す。
4	○評価する表現は、どのレベルで評価しているのかを考える。 ○筆者の「人類の宝である」という主張に納得できるかを考える。
5	○これまでの説明文と書き出しを比べる。 ○読者をひきつけるための表現の工夫を見つける。
6	○美術作品を選び、伝えたい良さや、注目する点を書き出す。 ○違う絵を選んだもの同士でメモを見合い、ほかに着目できるところはないか、違った見方はないかなど、メモに付け加える。
7	○書き出しを工夫したり、評価する表現を使ったりして、作品のよさを伝える解説文を書く。
8	○違う絵を選んだ児童同士で下書きを読み合い、アドバイスをする。
9	○アドバイスを受けて書き直したり、付け加えたりする。
10	○解説文を読み合い、一番よさが伝わると思ったものを作品ごとに決める。

教材文で考えると、こんな読みができそう!

「『鳥獣戯画』を読む」(光村図書 六年)

この絵からどんなせりふが聞こえてきそう?

「人類の宝なのです」という筆者の主張に納得できる?

### 研究から見えたこと

★批判的に読むという経験を重ね、対話をしたり、考えを書いたり、自分の考えを何度もアウトプットすることで批判的思考を働かせられるようになっていく姿が見られました。

(例えば)

「主張に納得できる?」

自分で考える

同じ立場の人で考える

違う立場の人の考えを知る

もう一度自分で考える

★「観点と対象」をもとに思考することで対話の目的が明確になりました。子どもたちは新しい「言葉」の捉え方に気付いたり、自分の考えを広げたり深めたりすることができました。

★学んだことが使えるようになると、できるようになった自分、成長した自分に気づき、学びの自覚につながるのだと、子どものふり返りからわかりました。

これからも、子どもの学びに寄り添った授業づくりを目指します!



## 「対話を取り入れたライティングの授業づくり」

研究員  
大橋 敏明



ライティングに苦手意識を持っている生徒が多いな…  
どうしたら表現(内容・言語)を吟味しながら、  
自分が伝えたいことを書いていくのかな…



！ 他者との対話によって、思いや考えを想起・整理  
し、知識・技能を補い合いながら、学んでいくこと  
が必要なのは？ 対話の視点をもたせたい！

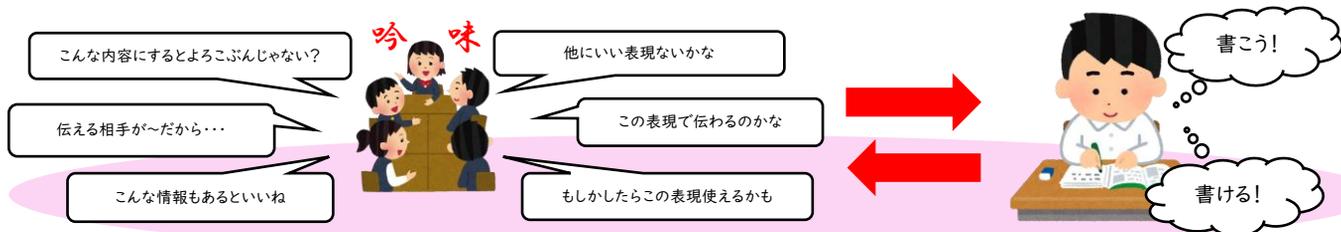
### 目的・場面・状況を設定することの意義 ~信州大学教授 酒井秀樹氏の考えを参考にしました~

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを設定すると…

(三省堂小学校英語マガジン第4号より)

1. 目的や場面、状況などに応じて、外国語でのコミュニケーションにおける「思考力、判断力、表現力等」が働く
2. 目的意識を持つことによって、主体的に学習に取り組める
3. 言語面(「知識及び技能」の側面)・内容面(「思考力、判断力、表現力等」の側面)から自らの学びを振り返る

👉 目的・場面・状況を対話の視点として活用すると、上記3つのことができるようになりました。



### 授業実践では

ALTからのメッセージをもとに、ALTの「状況」を明確にする

なぜこう思うのかな?

不安 緊張

楽しい気持ちもあるよね

状況について思考した

導入で、ALTが書いたメッセージの背景を問うことで、目的・場面・状況を明確にしました。

全員で確認

「目的・場面・状況を意識して書く」ことを経験する授業を行いました。

She is a teacher.  
She likes English.  
She doesn't have any pets.  
She reads comic books in her free time.

主語がIの例外でI don't doesn'tや doesn'tと否定はする

第三者と紹介するときは 動詞はSをFに

掲示物「言語面の知識、関連付けながら思考した。」

この後のライティングでは、目的・場面・状況を意識して対話する姿、表現の吟味を行う姿が見られました。また、「もっと書きたい」と話しながら取り組む生徒や、休み時間に自ら情報集めをしながらライティングを進める生徒の姿も見られました。

### 考察・まとめ

対話的な学びを支えるために大切だったこと

- ① 目的・場面・状況を設定するだけでなく明確にし、教師と生徒が確認しながら学習を進める
- ② 対話の視点を持たせ、既習の知識にいつでも立ち返れるように支援し、目的・場面・状況を意識して書くことを経験すると、自ら対話を進める
- ③ 対話が入ることで、ライティングが進む

#### まとめ

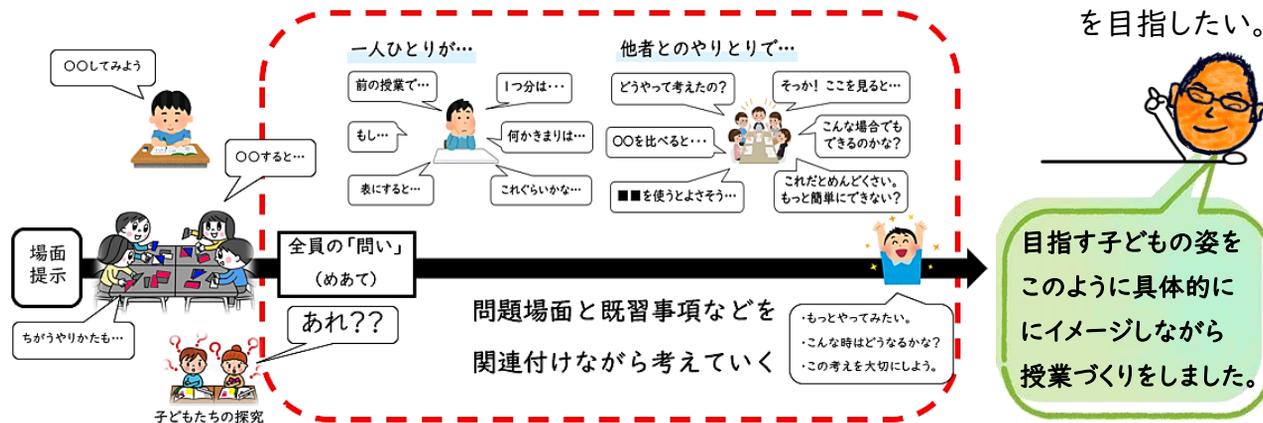
- ① 目的・場面・状況に生徒の思い・願いを関連付け、生徒が自分事にできるように支援することが大切でした。
- ② 生徒が目的・場面・状況を意識することで、思考力・判断力・表現力が働くことを実感しました。
- ③ 目的・場面・状況を自分ごととして考え、「伝えたい」と思うことで学習意欲が高まることを強く感じました。
- ④ 学習意欲が高まることで、表現の吟味が進みました。

## 数学的な見方・考え方を働かせる算数の授業づくり

研究員  
澤田 雄輝

問題解決の過程で

### 子どもたちが数学的な見方・考え方を働かせながら学ぶ姿



## みなさん、こんな疑問もっていませんか??

どのような教材研究をするといいの?

一体、どんな考えを大切にするといいの?

教師はどんな支えをするといいの?

**A** 私も分からないことだらけです。だからこそ、その一歩を踏み出すために **〈関西大学初等部 尾崎正彦先生〉** の理論に基づいて授業づくりの研究を進めました。

子どもが数学的な見方・考え方を働かせるのに役立つように10個のアイテムを開発しました。

〈算数の目を使った授業づくり〉によって、問題解決の過程でこのような思考をしながら学んでほしいと考えました。

### 『大切にしたい算数の目』

**A** 研究を通じて、**大切な授業づくりの視点**が見えてきました。

「〇〇したい」「やってみよう」という思いが表れる子どもの姿がたくさん見られました。

また、「算数の目」を意識しながら一人ひとりが考え、他者とやりとりする姿も見られました。

このような授業づくりを続けていくことで、子どもたちは学んだことをいかしながらさらに主体性を発揮すると考えています。

学習した内容や経験とつなげて考える <b>ツナガルン</b>	自分の分りやすい場面におきかえて考える <b>オキカエルン</b>	別の方法であらわして考える(式・図・表・グラフ) <b>ベツノホーネ</b>	まとまりで考えたり合わせて考えたりする <b>マトマルン</b>	何かの要素に着目して仲間わけを考える <b>ワケルン</b>
1つ分がどうなるかに着目して考える <b>ヒトツギン</b>	くらべる対象の基準をそろえて考える <b>ソロエルン</b>	だいたいの見直しを立てて考える <b>コロライン</b>	いくつかの対象からままりがないか考える <b>キョリン</b>	「こんな時は?」「どうしたい?」と対象を拡張して考える <b>モットー</b>

#### 〈教師の支え〉 「算数の目」を使った授業づくり

##### 教材研究

- 〈単元構想〉
- ・単元の系統性
  - ・単元目標(資質・能力)
  - ・働かせたい見方・考え方

- 〈授業プラン〉
- ・どんな気づき・問いが生まれるか
  - ・どんなつぶやきをキャッチして、どのように深めていくか

##### 授業

- 〈板書〉  
学びを可視化して全員で共有する
- 〈フィードバック〉  
価値ある考えに出会う・気づく
- 〈ふりかえり〉  
どんなことを学んだかを自覚する

思考・表現する環境を整える 学びの自覚を支える

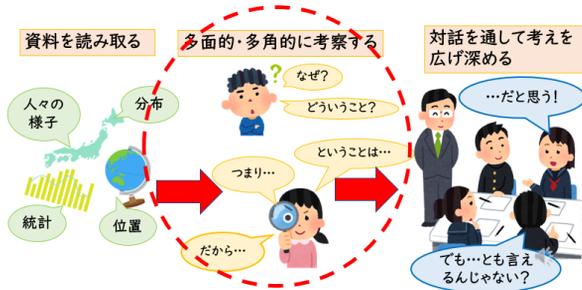
これからも挑戦は続きます・・・。

## 資料から多面的・多角的に考察する社会科の授業づくり

研究員  
坊 達也

情報化が進む社会の中で、自分にとって必要な情報を選んだり、他の情報から確かめたりして情報を正確に理解する力がより必要になってきます。この力を伸ばしていくために、社会科の学習では、資料から必要な情報を自ら得ること、得た情報をもとに、物事の様々な側面を捉え、様々な立場から考える、すなわち多面的・多角的に考察することがますます重要になると考えました。

### 社会科の学びのプロセス



対話を通して考えを広げ深めるために、まずは自分の考えを持つことが必要です。今年度は、資料から多面的・多角的に考察することに着目して授業づくりを行いました。

話し合いの場面を設定しても、事実の伝え合いで終わってしまう。

覚えるべき語句が多く、教師の説明が多くなってしまふ。

### こんな悩み、ありませんか？

私は悩んでいました。そこで...



資料から読み取って考えるために  
**注目する視点  
考え方**  
を見える化して提示しました！

**資料から考えよう。**

資料から分かること (事実や情報)

**視点**  
A) 比較する。  
B) 分類する。  
C) 総合する。  
D) 関連付ける。

- ① 今後どうなりそう？
- ② そうなっている理由や背景は何だろう？
- ③ メリットとデメリットは何だろう？
- ④ わいてきた疑問は？
- ⑤ 感じた思いや想像したことは？

### 実践の中でこんな生徒の姿が見えました

- 「インドって言語が1800以上あるって書いてあるけど、みんな分かるのかな？」
- 「英語が共通語って書いてある」
- 「あれ？インドのICTの輸出国はイギリスとアメリカって書いてあるけど、どちらも英語使っているね」
- 「てことは、インドとアメリカは言葉通じるのか！」

### 「考える方法」ボード

資料から  
**疑問**  
を抱く姿

(資料)  
インドの紙幣写真

(資料)  
24時間対応のコールセンターの仕組み

「この地図を見てみると、インドとアメリカの仕事の引継ぎが書いてあるけど、これはどういうこと？」

この地図から読み取れることは他にないかな？



「あ！時差だ。1学期にやったけど難しかったやつ」

「見てみると、インドとアメリカはちょうど昼と夜が逆っぽいな」

「同じ英語を使う国やし、そうしたら両方に会社があれば、24時間続けて同じ仕事ができる！」

「場所が変わってもできる仕事って...だからインターネットなのか！」

資料から得た気づきを  
**関連付けて考える姿**

### 実践を通して分かったこと

- ・ 資料について、情報を読み取るだけでなく、読み取った情報からよく考えることが大切。
- ・ 注目する視点と考え方を明示することで、考えを広げたり深めたりするきっかけに。
- ・ 自分の考えを持つことによって対話が生まれ、対話によって新たな気づきを得たり、さらに問い直したりする。

社会科は私たちの暮らす社会を学ぶ教科であるからこそ、自分の考えを持って対話することを大切にしたいと感じました。

